

令和7年度

学校防災アドバイザー派遣事業

学校安全総合支援事業
(文部科学省委託事業)



避難者をマニュアルに沿って配置していく
(避難所運営ゲーム)



地震被害を想定した訓練



地域の危険な場所を友達と共有する



保護者への引き渡し訓練を行う

学校防災アドバイザー派遣事業とは

防災の専門家を学校に派遣し、防災体制の整備や防災教育の充実を図ることをねらいとしています。

派遣講師

- ✓ 香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
- ✓ 日本技術士会四国本部所属技術士
- ✓ 香川県防災士会所属防災士
- ✓ 高松地方気象台職員

過去の報告書はこちら



○香川県教育委員会ホームページ
「学校防災アドバイザー派遣事業」
<https://www.pref.kagawa.lg.jp/kenkyoui/hokentai/iku/anzen-hoken/anzen/bousaihaken.html>

今年度も全国各地で数多くの地震が発生しました。その中でも、令和7年12月8日に発生した青森県東方沖を震源とする地震では、青森県八戸市で最大震度6強を観測し、津波警報も発表されました。今年度に発生した地震の中では、最も強い揺れとなり、この地震で初めて「北海道・三陸沖後発地震注意情報」が発表されました。私たちは、近い将来に発生が懸念されている南海トラフ巨大地震、激甚化・頻発化する豪雨、台風などの計り知れない自然災害のリスクに直面しています。

香川県教育委員会では、東日本大震災後の平成24年度から、希望する各学校（園）等に防災の専門家を派遣し、要望に応じて危機管理マニュアルや防災教育、より実効性のある避難訓練に対する助言、地域と学校との連携体制への助言等を実施してきました。

本報告書は、今年度の取り組みや成果等をまとめたものです。本報告書により、改めて学校における安全、安心とは何か、児童生徒等が安全、安心に生活できる学校（園）とはどのようなものなのかを問い直すきっかけになれば幸いです。

各学校（園）におかれましては、それぞれの実態に応じてご活用いただき、各学校（園）の取り組みの一助とさせていただきますようお願いいたします。

香川県教育委員会

実践事例 1

実際の災害を想定した避難訓練

高松市立亀阜小学校

避難訓練実施

実際の災害を想定し、設定したシナリオ

- ・余震、停電、傷病者の発生
- ※実施日当日に、「傷病者カード」を配布

Point

大地震が起こったら想定されること

- ・放送機器が使えない。
- ・けが人が出る。
- ・ガラスが割れる。
- ・運動場で液状化が起こる。
- ・近くのため池が決壊する。
- ・津波が発生する。
- ・登下校中や休み時間中に発生する。 など

訓練の振り返り

研修後のアドバイザー助言

- ・非構造物や窓ガラスなど、落下するものを想定した避難を考えてもよい。
- ・残された児童への不安を和らげる声掛けも必要である。
- ・教職員自身も安全行動を取ってほしい。目の前の教職員の言動によって、児童は安心感を味わったり、緊迫感を和らげたりできる。

教職員間で課題の共有

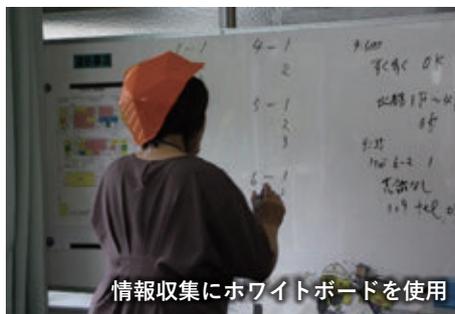
○訓練後に気付いた課題

- ・実際は、隣の教室とのコミュニケーションやフロアごとの連携が簡単にできない(その場に立ってられない)状況になることを教職員が把握しておく必要がある。

避難訓練計画の修正



ケガ人の対応をする教職員



情報収集にホワイトボードを使用



傷病者カードを使用

三豊市立仁尾中学校

避難訓練実施

実際の災害を想定し、設定したシナリオ

- ・傷病者、津波の発生
- ・一次避難→二次避難→避難所運営体験

避難所運営体験

- ✓ アドバイザーから避難所を開設する上での注意事項等の指導・助言を受けた後、避難所運営ゲーム(HUG)を行った。



アドバイザーからの指導・助言

社会福祉協議会の方々からの話

- ✓ 社会福祉協議会の方々から、ご自身が体験した被災地支援ボランティアについて話をさせていただき、避難所運営体験で学んだ知識をさらに深めた。



避難所の受け入れ体験活動の様子

振り返り(生徒)

避難所運営体験後の生徒の感想

- ・高齢者やけが人、外国人等、様々な人が避難してくることを想定して、対応しなければいけないと思った。
- ・避難所へ避難するようなことがあった時には、今回の経験を生かし、何かをしてもらっただけでなく、私たち中学生が中心となって避難所の運営に携わっていきたくと思った。

避難訓練計画の修正

○避難所運営体験後の成果

役割分担や円滑なコミュニケーションの重要性を感じた。また、想定外の事態に臨機応変に対応する力を身につけ、チームで協力して運営する体験を通して、問題解決能力や協働力が向上した。この経験が、学校や地域での防災活動に生かせる。



社会福祉連絡協議会の方々からの話

実践事例 2

校区の災害リスクを踏まえた危機管理マニュアルの見直し



さぬき市立志度幼稚園



三豊市立本山小学校



観音寺市立観音寺小学校

災害リスクの理解

- ✓ 学校周辺や校区等には、どのような災害リスクがあるのか、アドバイザーから学ぶ。

危機管理マニュアルの助言

- ✓ アドバイザーから以下の視点で助言
 - 災害リスクを踏まえた危機管理マニュアルになっているか。
 - 実際の災害等を想定した対応になっているか。

訓練計画の修正

- ✓ アドバイザーの助言を踏まえ、学校の実情に合ったマニュアルに修正する。

Point 危機管理マニュアル見直しの要点

- 校区の災害リスクを正しく知る。
- いつ、誰が、何をするのかを記載し、対応を明確にする。
- 教職員、子どもたちの行動指針は、フロー図等で示す。
- 複数の教職員で、マニュアルを作成する。
- 避難訓練実施後は、検証・改善し、危機管理マニュアルに反映する。

実践事例 3

地域と連携した防災教育

坂出市立東部小学校（2回実施）

まち歩き①

- ✓ 危険な所、安全な所、防災施設・設備を確認し、カメラやメモに記録する。
- ✓ アドバイザーや地区自主防災組織の方から災害や施設等を学ぶ。

まとめ①

- ✓ 前回のまち歩きでアドバイザーや地区自主防災組織の方から学んだことをまとめる。

まち歩き②

- ✓ 前回と同じコースでまち歩きを行い、児童が学んだことを児童の言葉で地域の方に伝える。

調べたことのまとめ②・発表

- ✓ 体育館でスクリーンを使い、他の班の友達や地域の方に学んだことを発表する。

アドバイザーから講評・助言

- ✓ 今後の学習について、アドバイスをもらう。

Point 地域と連携した防災教育(例)

- 地域の人と一緒に避難訓練をする。
- 消防、警察、自治会等の人から防災の話聞く。
- 地域の危険な場所を一緒に確認する。(防災マップ作り) など



避難に関する標識のチェック



学んだことの発表

学校防災アドバイザー派遣事業推進委員会

推進委員

長谷川 修一 (香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構)	池田 達治 (視覚支援学校)
野崎 恭一 (香川県防災士会)	富家 誠 (香川県PTA連絡協議会)
安西 慎 (日本技術士会四国本部)	井口 和久 (三木町教育委員会)
来田 真 (危機管理課)	高橋 秀明 (直島町教育委員会)
高橋 秀誠 (高松市消防局)	竹森 大介 (多度津町教育委員会)
山下 美穂 (さぬき市立志度幼稚園)	川染 直輝 (綾川町教育委員会)
廣瀬 貴志 (高松市立太田小学校)	三好 崇 (東部教育事務所)
中西 健三 (坂出市立東部中学校)	石川 敦子 (西部教育事務所)
植松 陽司 (高松北高等学校)	高田 孝行 (保健体育課)

第1回会議：令和7年6月3日(火)

第2回会議：令和8年1月15日(木)

- 事業を活用している学校(園)は増えてきているが、学校差、地域差があるように感じる。差をなくするために、周知の仕方考える必要がある。
- 事業を活用するときに、自校だけでなく、近隣の学校(園)と実施日を調整し、数校がまとまって行うとより効果的なものとなるのではないかと。
- 実効性のある避難訓練ができていない学校を目にすることがある。災害が起こった時に、どのような被害がでるのかを考え、避難訓練計画を見直すことが重要である。
- 防災は、日常の延長線上にあることが大切である。楽しみながら学ぶことで防災が「特別なもの」ではなく「身近なもの」となり、いざというときに迷わず行動する力につながると思う。

令和7年度 学校防災アドバイザー派遣事業実施校

月日	学校（園名）
6月17日	丸亀市立城乾こども園
6月20日	三豊市立大見幼稚園
6月23日	まんのう町立長炭こども園
6月23日	観音寺市立観音寺小学校
6月30日	香川県立坂出高等学校
7月03日	丸亀市立飯山中学校
7月22日	観音寺市立観音寺中学校
7月24日	高松市立円座小学校
7月28日	小豆島町立苗羽小学校
8月25日	香川県立高松支援学校
8月27日	三豊市立比地大小学校
8月27日	善通寺市立筆岡小学校
8月29日	坂出市立東部中学校
9月01日	観音寺市立豊浜中学校
9月04日	さぬき市立造田小学校
9月05日	三豊市立大見小学校
9月10日	桜町聖母幼稚園
9月11日	高松市立屋島西小学校
9月12日	さぬき市立造田小学校
9月17日	高松市立亀阜小学校
9月18日	坂出市立川津こども園
9月18日	坂出市立東部小学校
9月24日	さぬき市立志度幼稚園
9月25日	高松市立屋島西小学校
9月26日	高松市立香南中学校

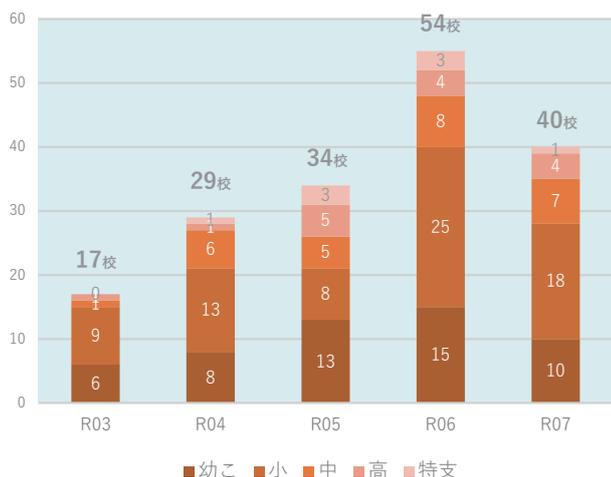
月日	学校（園名）
9月29日	坂出市立白峰中学校
9月29日	高松市立大野小学校
9月30日	高松市立大野幼稚園
10月02日	三豊市立松崎小学校
10月08日	高松市立弦打小学校
10月09日	三豊市立比地二幼稚園
10月15日	高松市立弦打小学校
10月16日	香川県立琴平高等学校
10月23日	坂出市立東部小学校
10月24日	三豊市立本山小学校
10月29日	坂出市立白峰中学校
10月30日	坂出第一高等学校
10月31日	坂出市立松山小学校
11月05日	三豊市立仁尾中学校
11月05日	三豊市立比地大小学校
11月06日	観音寺市立大野原小学校
11月07日	坂出市立川津こども園
11月07日	三豊市立上高瀬幼稚園
11月11日	桜町聖母幼稚園
11月12日	高松市立屋島小学校
11月17日	高松市立屋島東小学校
11月25日	観音寺市立豊浜中学校
11月25日	香川県立津田高等学校
12月04日	香川県立高松支援学校
12月09日	観音寺市立観音寺小学校
12月16日	マリア幼稚園

令和7年度実績

40校 51回派遣

（幼・こ10園、小18校、中7校、高4校、特支1校）

事業実施校数（R03～R07）



Point

学校防災アドバイザー派遣事業をより効果的に活用する例

- ✓ 危機管理マニュアルや訓練の見直しを行う場合は、管理職だけの参加ではなく、**より多くの教員が参加できる時間で実施**する。
- ✓ 実施の際、**近隣の学校（園）や教育委員会、危機管理部局、地域防災関係者等**に声をかけ、**災害時の対応について共有**する。
- ✓ 事業実施後は、できる限り**早期に危機管理マニュアルや訓練計画を修正**する。